

# IBM WebSphere ILOG Rules for .NET

## Microsoft .NET と SOA 環境に対応したビジネス・ルール管理システム

### 概要

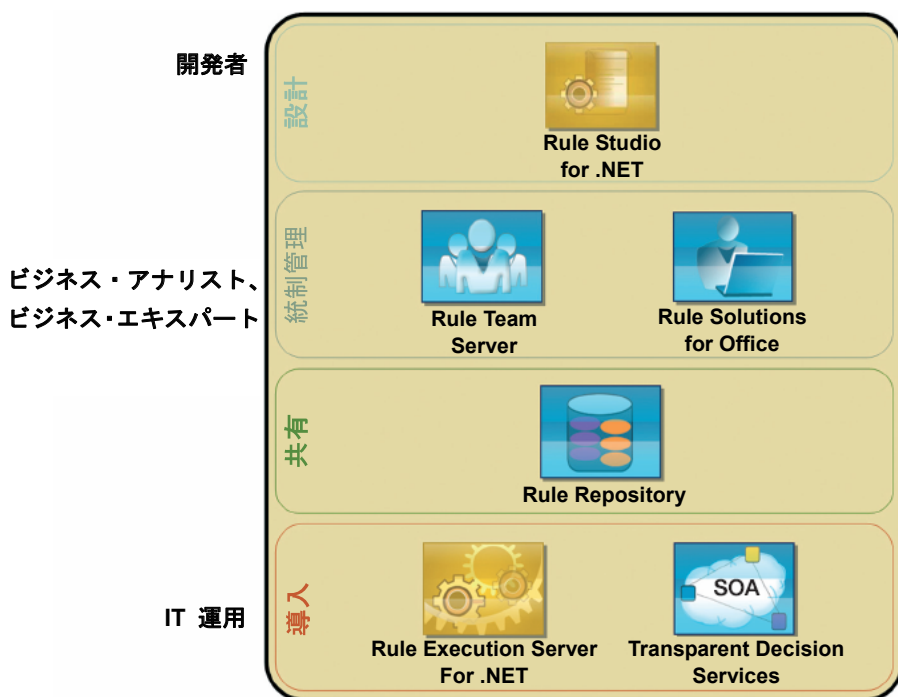
- .NET 対応の BRMS
- Microsoft® Visual Studio と統合
- Microsoft Office からビジネス・ルール管理が可能
- 全ユーザーについてコラボレーションをサポート
- 高速でスケーラブルなビジネス・ルール・エンジン

### 意志決定の自動化を推進し、ビジネスと IT の協調を強化する

業務システムを有効に活用したいと考える組織にとって、ビジネス・ルール管理システム (BRMS) にはさまざまなメリットがあります。それぞれの状況に応じて正確な判断が自動的に得られ、処理の繰り返しが減り、社内ポリシーや社外規制に対するコンプライアンスが確保できるようになります。BRMS ではまた、ビジネス・ユーザーと IT ユーザーの両方が理解できる形でビジネス・ルールを策定し、自動的な意思決定ロジックを実装することが容易に行えます。これにより、継続的なアプリケーション・メンテナンスの時間とコストが削減されます。

### Microsoft を中心とした BRMS

BRMS の一つ、IBM® WebSphere® ILOG Rules for .NET は、15 種類以上の Microsoft の製品と技術により、柔軟性が高くパワフルなルール管理技術が使えるため、開発者、システム・アドミニストレータ、ビジネス・アナリスト、ビジネス・ポリシー・マネージャーにとって、とても便利です。Microsoft Visual Studioにて、ビジネス・ルールのオーサリング、試験、導入が一つの統合開発環境 (IDE) で行うことができる Rule Studio for .NET も用意されています。Microsoft Office の Word や Excel から直接ビジネス・ルールを管理できる画期的な IBM WebSphere ILOG Rule Solutions for Office もあります。



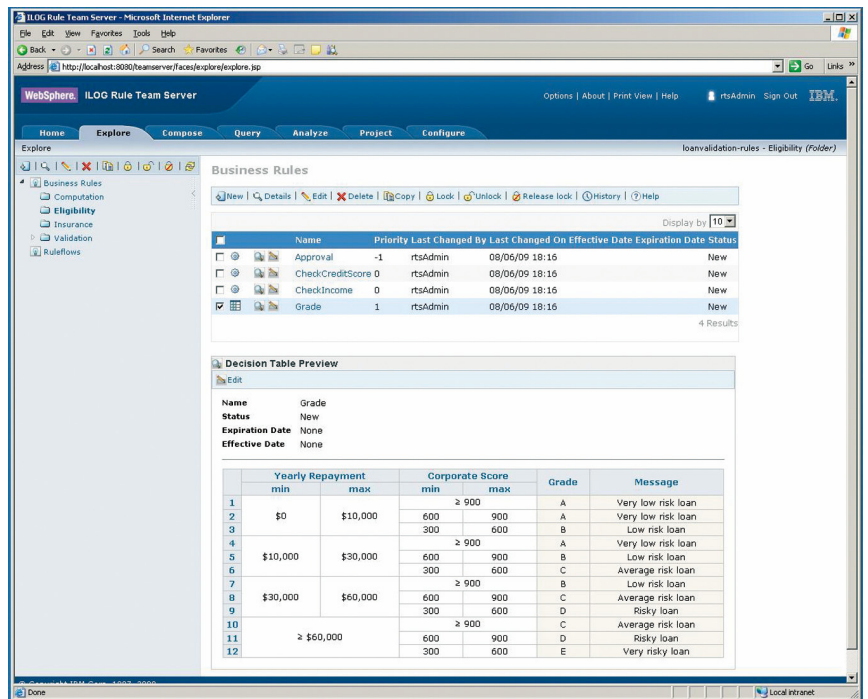
Rules for .NET BRMS は、ルール・ベースのアプリケーションを定義、維持、導入できる包括的なソリューションです。

## コミュニケーションとコラボレーション

Rules for .NET には、IBM WebSphere ILOG Rule Team Server と組み合わせ、ユーザーのコミュニケーションとコラボレーションを容易にするツールとメカニズムが用意されています。集中的なルール・リポジトリと Web ベースの環境により、ビジネス・チームが地理的に分散していても、コラボレーションを通じて、ビジネス・ルールをポリシーや業務に適応させることが可能です。

### 簡単、安全、予測可能なルール管理

Rule Team Server は、生産性を高めるとともに、ルール管理を簡便で安全、かつ、予測可能な形で行えるように開発されたビジネス・ユーザー向け製品です。ビジネス・ルールを変更したい場合、ビジネス・チームが地理的に分散していても、お互いの間で、あるいは IT システムとの間で、ルールの作成、管理、授受を容易に進められます。また、インターフェースは設定が容易で使いやすく、機能もパワフルであるため、業務に使用する意思決定ロジックを自在にコントロールするとともに、BRMS と相互作用を持つシステムに対するルールの影響を明確に把握することが可能です。



Rule Team Server は、コラボレーションに適した Web ベースの環境でビジネス・ユーザーがルール管理を行えます。

Rule Team Server は、ビジネス・チームに以下の機能を提供します。

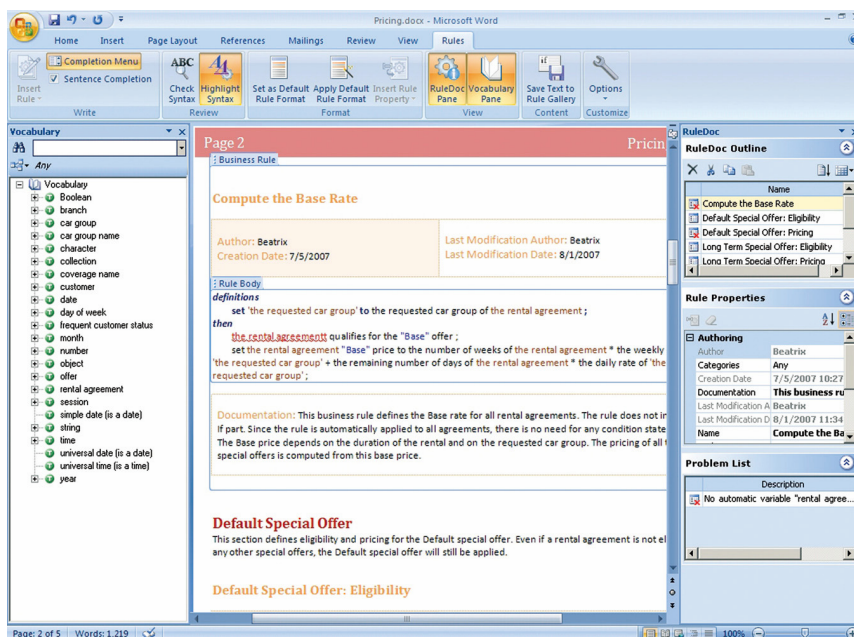
- プログラミング言語ではなく、普段、業務で使う言葉によるルールの作成や編集
- 役割に応じた許可、アクセス制御、カスタマイズ可能なルール・メタデータ・プロパティを用いたコラボレーションの管理
- スマート・ビュー、フィルター、レポート機能によるルール・プロジェクトの簡素化
- テンプレート、ポイント・アンド・クリック方式のエディター、エラー・チェック機能、バージョン管理機能によってルールのメンテナンスを簡素化
- カスタマイズ可能なクエリ、レポート、バージョンによる違いをビジュアルに比較する機能によってルールの品質を維持

### Microsoft Office を使用したルールのメンテナンス

ルール管理を企業内のビジネス・エキスパート全体に拡張するのが、Rule Solutions for Office です。Microsoft Office の Word と Excel に対応したプラグインをロードすればファイル・ベースの「ruledoc」が使えるようになります。使い慣れたデスクトップ・ツールを使って新しいルールを作成したり既存のルールを編集したりできるようになります。一方で、運用環境ではこのようなルールを呼び出す基本的なアプリケーション側の要件は、きちんと実行されます。

Rule Solutions for Office を使用すると、以下のようにルールのメンテナンスが容易になります。

- ルールのメンテナンスの柔軟性を最大に — ルール・プロジェクトやプロジェクトのサブセットを *ruledoc* 形式で Rule Team Server から抽出し、それをオフラインで共有・編集することができます。Ruledoc を Rule Team Server に戻せば、編集したルールが実装され、運用システムに導入されます。
- ルールの作成や編集に対するガイドの提供 — Ruledocs には、その基礎となる関連ルール・プロジェクトの詳細が記述されています。ルールにロジック・エラーやシンタックス・エラーがあればハイライト表示されます。また、IntelliSense エディターには自動補完機能が用意されており、ユーザーをインタラクティブに支援してくれます。
- ルール管理のライフサイクルを通じてビジネス・ユーザーの生産性を向上 — Rule Solutions for Office では、使い慣れたアプリケーションを使って高い生産性を実現できます。構造化されたビジネス・ルールとそのルールに関する構造化されていない情報を組み合わせ、ビジネス要件を深く理解したり文書化に活用したりすることもできます。



Rule Solutions for Office では、エンタープライズのどこからでもルールの作成とメンテナンスが行えます。

### 開発者とアプリケーション・アーキテクト

Rules for .NET には、ビジネス・ルール・アプリケーションの開発とメンテナンスに必要な機能がすべて用意されています。

- **Microsoft Visual Studio との統合** — Rule Studio for .NET には Visual Studio 用モジュールが用意されており、ルール・ベースのアプリケーションの開発からメンテナンス、導入まで、これ一つで、幅広く使用できる IDE です。アプリケーション・アーキテクトや開発者は、使用中の Visual Studio を離れることなく、ビジネス・ルールでもアプリケーション・ソース・コードでも自由に取り扱えることとなります。この結果、.NET プラットフォームでルール・ベースのアプリケーションを開発する効率が大幅に改善されます。ビジネス・ユーザーはルール・プロジェクトを Rule Team Server 経由で簡単に共有できるため、コラボレーションや継続的なルール管理の手間が大幅に削減されます。

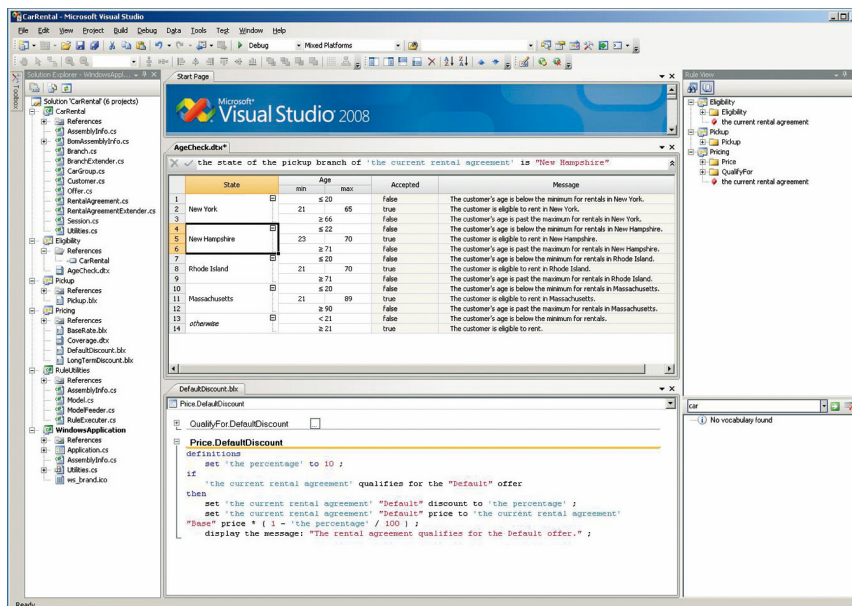
- **ビジネス・オブジェクトのモデル・ビュー** — 普段、業務で使う言葉でビジネス・ルールを表現し、これを .NET オブジェクトに直接マッピングすることができます。この作業は、背景にある技術的な実装の構造ではなく、ビジネスの構造を反映したオブジェクト・モデル・ビューによって行います。
- **ビジュアル・ルール・エディター** — ビジネス・ルール用のカスタマイズ可能な言語を使用し、自然な構文でビジネス・ルールを書き表すことができます。
- **デシジョン・テーブル・エディター** — Rule Studio では、会社のポリシーをデシジョン・テーブルで定義することができます。デシジョン・テーブルとすると、膨大なルールが見やすく、管理が容易になります。ビジネス・ルールを簡潔に表現できるようになるほか、共通の方法でビジネス・ユーザーとコミュニケーションがとれるようになります。

- **Ruleflow エディター** — Rule Studio には、ルールの実行順序や条件をコントロールする Ruleflow という構造が用意されています。ルールがグラフィカルに表示され、条件ごとに適用するルールの順番を簡単に指定できます。
- **.NET オブジェクトの直接実行** — Rules for .NET には、CLR (Common Language Runtime) に対応した API (Application Programming Interface) が用意されています。CLR オブジェクトでルールを直接実行できるため、.NET オブジェクトや XML Web サービス、ADO.NET データ・ソースなどでルールを実行可能です。このエンジンは、.NET イベントなど、このプラットフォームが提供するさまざまな機能もサポートしています。

### Microsoft 製品を中心とした展開

Rules for .NET は、以下のように、15 種類以上の Microsoft 製品、技術と組み合わせることができます。

- Office 2007
- .NET Framework 3.5
- ASP.NET Server Control
- Visual Studio 2008
- Windows® Workflow Foundation (WF)
- MS Build
- Microsoft SQL Server 2005 / 2008
- Visual Source Safe
- Communication Foundation (WCF)
- BizTalk (WCF Integration Point)
- Microsoft Management Console 3.0
- Windows Service
- Logging Application Block
- WMI Event および PerfMon
- Windows Server 2003 / 2008
- Windows XP / Vista



Rule Studio は、ルール・ベースのアプリケーションが開発できる Visual Studio をベースとした開発環境です。

### 自信を持ってルールを実行する

Rules for .NET では、多彩な機能を .NET 環境と SOA 環境に導入し、実行することができます。さまざまなアプリケーションと BPM プロセスで決定事項を共有し、再利用できるのです。

- **高いパフォーマンスとスケーラビリティ** — WebSphere ILOG Rule Execution Server for .NET では、Microsoft の標準クラスタリング構成で高い可用性とスケーラビリティを実現する垂直モデルと水平モデルの両方をサポートしています。そのサービスはまた、クラスターが持つ複数の実行ノードにおいて、エンジンをプールしたり意志決定を同期したりすることができます。
- **管理と監視** — Rule Execution Server for .NET のサービスは、すべて、MMC (Microsoft Management Console)、Windows Event ログ、PerfMon という標準構成をサポートしています。

### 標準ベースの SOA — Rule

Execution Server の Transparent Decision Service 機能により、WSDL (Web Services Description Language) で指定された Web サービス・エンドポイントを、導入した「ルール・セット」からコーディングは不要で、自動生成することができます。意思決定サービスの相互運用性を拡大し、クロスプラットフォーム SOA 構想をカバーできるのです。

- **.NET ネイティブのルール・エンジン** — Rules for .NET のルール・エンジンはすべてが C# で書かれ、.NET アセンブリとしてパッケージングされているため、.NET プラットフォームがサポートしているものであれば、C#、VB.NET、Managed C++ など、どのプログラミング言語からでも使うことができます。つまり、アーキテクチャーにもプログラミング言語にも依存せず、.NET アプリケーションとルール・エンジンをシームレスに統合できるわけです。このルール・エンジンはこのほか、ASP.NET、Windows Forms、XML Web サービス、Microsoft Office で構築されたソリューションにも統合可能です。





## 追加情報

IBM WebSphere ILOG Rules for .NET  
製品についてと詳しく知りたい方は、  
IBM 営業担当者あるいは IBM ビジ  
ネス・パートナーへお問い合わせにな  
るか、ウェブ・サイト  
(<http://ibm.com/software/jp/websphere/>)  
をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan

September 2009

All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com および WebSphere  
は、世界の多くの国で登録された  
International Business Machines Corporation  
の商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞ  
れ IBM または各社の商標である場合があ  
ります。現時点での IBM の商標リストに  
ついては、  
<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> を  
ご覧ください。



Recyclable, please recycle.

WSD14049-USEN-00